



どうなった？一般質問のその後

過去に議員が行った一般質問が、その後、町政にどう活かされたのか追跡調査をした。

道の駅かつら移転について

(令和2年9月)

質問

地域に愛されている道の駅なので、地域の方や現場の声を聞きながら計画を立てるべきである。

環境センターについて

(令和3年3月)

「環境センターの解体工事」や「不燃ごみの処理施設」の現状について、町民に理解されず、分からない部分がある。

農家や住民の声をすいあげて、どんな施設にするか決めていきたい

答弁

道の駅かつらの新たなあり方を考えた上で、移転先も考えていく。

「不燃ごみ処理施設」は令和5年3月の完成を目指す

「環境センターの解体工事」は、本会議(令和3年3月)に工事請負契約を上程しており、令和4年3月の完成を目指す。

現在の状況は、こうなっています

移転に向けた関係機関との協議や設計内容の検討を進めている

令和2年10月に城里町特産品直売センターかつら(道の駅)移転整備検討委員会を設置し、令和3年12月までに計6回の検討委員会を開催した。委員会で決定された、城里町「道の駅かつら」移転基本構想及び基本計画に基づき、令和4年9月からは測量や現地調査を行った。

「環境センターの解体工事」は令和4年3月に終了した

解体後の跡地に、資源ごみを貯留するためのストックヤード建設を行っており、令和5年3月に完了する予定。令和5年度には外構工事を行い、一部を粗大ごみ置き場として活用する。「不燃ごみ処理施設」は建設しない事とした。

編集後記

夢や希望を抱く新年を迎えました。

今年2023年は本来の干支「十干十二支」(じっかんじゅうにし)でいうと「癸卯」(みずのと・う)年。このサイクルは60年で一巡し、それが還暦の由来です。

「癸」は揆(はかる)という文字の一部で物事の終わりと始まりを意味する。「卯」はもともと茂という字が由来といわれ、春の訪れを感じる。

また「卯」という字の形が門が開いている様子を連想させることから、冬の門が開き飛び出るといふ意味。つまり「癸卯」一年はこれまでの努力が実を結び勢いよく成長し、飛躍するようになるかと考えられます。

この城里町も大きく発展し町民の生活が大きく向上する年になるよう、新人らしく明るく元気に前向きに引き続き町政に取り組んで参ります。

議会広報委員会

- 委員長 桜井和美子
- 副委員長 藤咲美子
- 委員 高橋裕子
- 委員 金綿秀男
- 委員 飯引静男
- 委員 藤村和美子

金長秀範 記